

2020年11月16日

オンライン試験利用規約

一般社団法人日本医療機器学会
MDIC 認定委員会

「第13回 MDIC 検定試験のご案内」に基づきお申し込みをされている方で、オンライン試験の利用規約を定めるものです。

第1条 オンライン試験を受験

1. 受験が可能な場所

会社、学校、自宅、知人宅など、どこでも、インターネット環境が整備されていれば受験することが可能です。

2. ただし、今回の検定試験は海外においては、受験することができません。

第2条 当学会が準備するもの

1. オンライン試験システムの準備

本システムは、受験票に記載の、サイトにアクセスして、受験番号、パスワードを入力した上で受験することができます。

2. 動作確認サイト

動作確認サイトは、検定試験の申込の如何にかかわらず、どなたでも確認することができます。受験や受講を希望される方は、動作確認サイトで通信環境の点検と、模擬テスト、模擬セミナーを動作させて、システムの確認を行うことができます。

なお、検定受験の方は、オンライン試験システムの Web カメラで、自分のバスタアップ写真が正しく撮影できるかの確認もお願いいたします。

3. 試験監督システム

本試験監督システムは、オンライン試験を受験する際に稼働します。本システムでは、申込者本人の合格カード用の写真を撮影し、受験生が受験中に離席しないか、不審な行動を行わないか、などの確認を行い、10秒～20秒に1回程度、試験システムサーバーに送信して画像を保存するシステムを備えています。

第3条 受験者が用意するもの

1. パソコン

デスクトップパソコン、ノートパソコンの何れでも受験可能です。スマートフォンやタブレットでは受験できません。

2. インターネット環境の整備

インターネット環境は、有線・Wi-Fiを問いません。ただし、十分な通信速度が保て

る環境をご用意ください。なお、環境整備に要する費用は受験者の自己負担とさせていただきます。（有線環境を推奨します。）

第4条 オンライン・ライブ検定試験監督システムと Web カメラの利用について

1. 本試験監督システムで利用する Web カメラ（広角カメラ）は、当学会よりレンタルのカメラを使用します。
したがって、ノートパソコン内蔵のバストアップのみが撮影されるタイプの Web カメラは不可となります。

第5条 オンライン・ライブ検定試験受験の流れ

1. オンライン試験システムによる受験
本検定試験システムでは、動画により試験監督が「受験上の注意」を行います。次に「用意」「始め」の合図があったら、「開始ボタン」を押して試験を開始します。試験が開始されると、制限時間がカウントダウンされ、所定の時間が経過すると自動的に試験が停止されます。
終了すると、動画で試験終了のアナウンス告知され試験がすべて終了します。
2. オンライン試験システムによる回答方法
本検定試験システムでは、5 択の設問形式があり、設問が 1 番より、順次表示されますので、回答を選択して下さい。
なお、必ずしも順次答える必要はありません。飛ばしておいて後で答えたり、戻って訂正することもできます。
3. オンライン・ライブ検定試験監督システム
本検定試験監督システムでは、Web カメラに映る受験者の画像を 10 秒～20 秒ごとに試験システムのサーバーに送信して保存します。当学会では、採点と並行してサーバーに保存された画像をチェックして、本人確認、離席チェック、持ち込み禁止物のチェックなどを行います。

第6条 オンライン試験を受験する方は、動作確認サイトで検定試験の受験方法を次の手順で確認して下さい。

1. 動作確認サイトで、受験番号、パスワードを入力して、実際に試験ができるかを確認して下さい。
2. オンライン試験システムで Web カメラの撮影範囲を確認して、バストアップ写真が撮影できるように調整して下さい。
3. 模擬テストを実施して回答形式を確認して下さい。模擬テストは何回でも行うことができます。
4. 室内の Web カメラで撮影される範囲を確認して不要なものを整理して下さい。
5. 受験中の他の人の動きについて、映像内に入り込まないように依頼して下さい。
6. 受験日は 30 分以上前に試験システムを動作させて、最終の確認をして下さい。

7. 受験上の注意を聞き、受験をスタートします。
8. 問題に回答したり、進んだり、戻ったりして回答方法を確認して下さい。

第7条 オンライン試験を受験する際の注意事項

1. 試験中、Web カメラで受験生の動静が判断できるように、適切な照明を行って下さい。
2. 試験中に他の人が映り込まないように、また、他人の話し声が届かないように間隔を取っていただきますようお願いいたします。受験者が他人と話したり、近くにいる場合は不合格となる場合がございます。
3. 受験会場におけるプライバシー等の注意
受験に際して Web カメラで受験者を撮影して、試験システムサーバーに画像が送信されて保存されますので、差支えの有るものは、映らない場所に移動して下さいますようお願い致します。もちろん当学会はカメラ映像を、合格カード写真への利用、本人確認、試験中の不正行為防止以外に利用することは一切ありません。
4. 試験中にマイクに雑音や音声が入らないように、周辺の環境にお気を付け下さい。

第8条 オンライン・ライブ検定試験を受験する際の禁止事項

1. 試験中の受験生の動作を 10～20 秒間隔で試験システムサーバーに送信して保存します。
試験中の不正行為を行ったことが判明した場合、或いは、不正と疑わしい行為が判明した場合は不合格となります。
2. Web カメラ、マイクが動作していない場合は不合格とします。
3. 以下の行為があった場合は不正行為が行われたと看做し不合格とします。原則として、行為、行動の基準は公開会場の試験開催の場合と同様とします。

【不正行為となる行為の一覧】

1. 受験登録者以外の者が受験した場合
2. 試験中、受験者が入れ替わった場合
3. 試験中に席を離れた場合
4. 試験中にマウス以外のキーボードなどに触れた場合
5. オンライン試験システム以外のページを閲覧した場合
6. 試験中に他人と会話した場合（受験者が話していない場合も含む）
7. 試験中に、無言であっても、他の人が受験者に近寄った場合
8. 携帯電話及びその他の電子機器を使用した場合
9. 受験票プリントアウト用紙以外の物（本、参考書、辞書、他）を出していた場合
10. 受験者の目に触れる位置に、試験に関連する掲示物が貼付又は置いてあった場合

11. コーヒー・お茶などを含め、飲食を禁止します。
12. その他、不正行為が行われていると、疑われる行為を行った場合
13. 病気などの止むを得ない事情により席を離れる場合は、予め当学会に届出て下さい。
14. また、指定のお薬などを飲む必要がある場合も予め当学会に届け出て下さい。
15. 試験問題の著作権は当学会にあります。試験中に問題の複製などを行うことを禁止します。

第9条 免責事項等

1. 本人の確認不足や怠慢により、受験時間になっても適正に受験システムが動作できない場合は不合格となります。動作確認時にご不明な点を解決するようにお願いいたします。
2. 当学会は、本人の通信設備、パソコンの事情等による通信障害や、本人の責により、受験に不具合が生じた場合の責任は負いかねますので、必ず動作確認を綿密に行ってください。
3. オンライン試験システムの著作権は一般財団法人 全日本情報学習振興協会にあります。システムの複製などを行うことを禁止します。